

第1回大野市小中学校再編計画検討委員会

と き 令和2年6月22日
午後7時より
ところ 結とぴあ

- 1 開会、委嘱状交付
- 2 教育長あいさつ
- 3 正副委員長選出
- 4 議事
 - (1) 大野市小中学校再編計画検討委員会について (資料No.1、2)
 - (2) 再編計画の経過について (資料No.3)
 - (3) 意見交換会、アンケートの結果について
 - (4) 教育環境の現状について (資料No.4)
 - (5) 再編計画の見直しに向けた教育委員会の方針について (資料No.5)
- 5 その他
- 6 閉会あいさつ

大野市教育理念

《理念本文》

明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人

《宣誓文》

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

平成21年3月

大野市教育委員会

明倫（めいりん）とは

大野藩第7代藩主土井利忠（1811～1868年）は、藩の政治や経済の建て直しには、新しい知識を学んだ人材が必要であるという考えに基づき、弘化元年（1844年）に藩校「明倫館」を開設しました。明倫館の「明倫」という言葉は、「皆人倫を明らかにする所以なり」に由来し、人の生きる道を明らかにすること、すなわち、人として守り、行うべき道を明らかにすることを指しています。

明倫館は、当時としては珍しく、武士の子弟に限らず、広く一般家庭の子どもたちにも門戸を開いて学ばせていました。そして、ここで育った人材は、大野藩の商業や鉱業などを盛んにし、藩財政の再建に大きく貢献したと言われています。私たちは、この史実に基づいて、大野の教育の全てを貫く普遍の理念を「明倫」と定めます。